

2007年2月期
第3四半期決算説明資料

2007年1月
株式会社ゼットン

I. 第3四半期決算概要

(2006年3月～11月)

2007年2月期第3四半期サマリー

1

新規出店の状況

2006年9月～11月において1店舗を新規出店。第3四半期においては、合計4店舗を新規出店。11月末時点の店舗数は合計26店舗に。

2

既存店の状況

収益性向上を図るため、店舗のリニューアルを実施。
既存店売上高は前年同期比109.6%。

3

業績の状況

第3四半期の売上高は2,779百万円（2006年2月期通期は2,947百万円）^{※1}。
パブリック事業^{※2}の売上構成比が、前期比5.7ポイント増の48.6%に上昇。

※1：2007年2月期第3四半期は第3四半期財務諸表を初めて作成するため、前年同期との比較分析は行っていません。

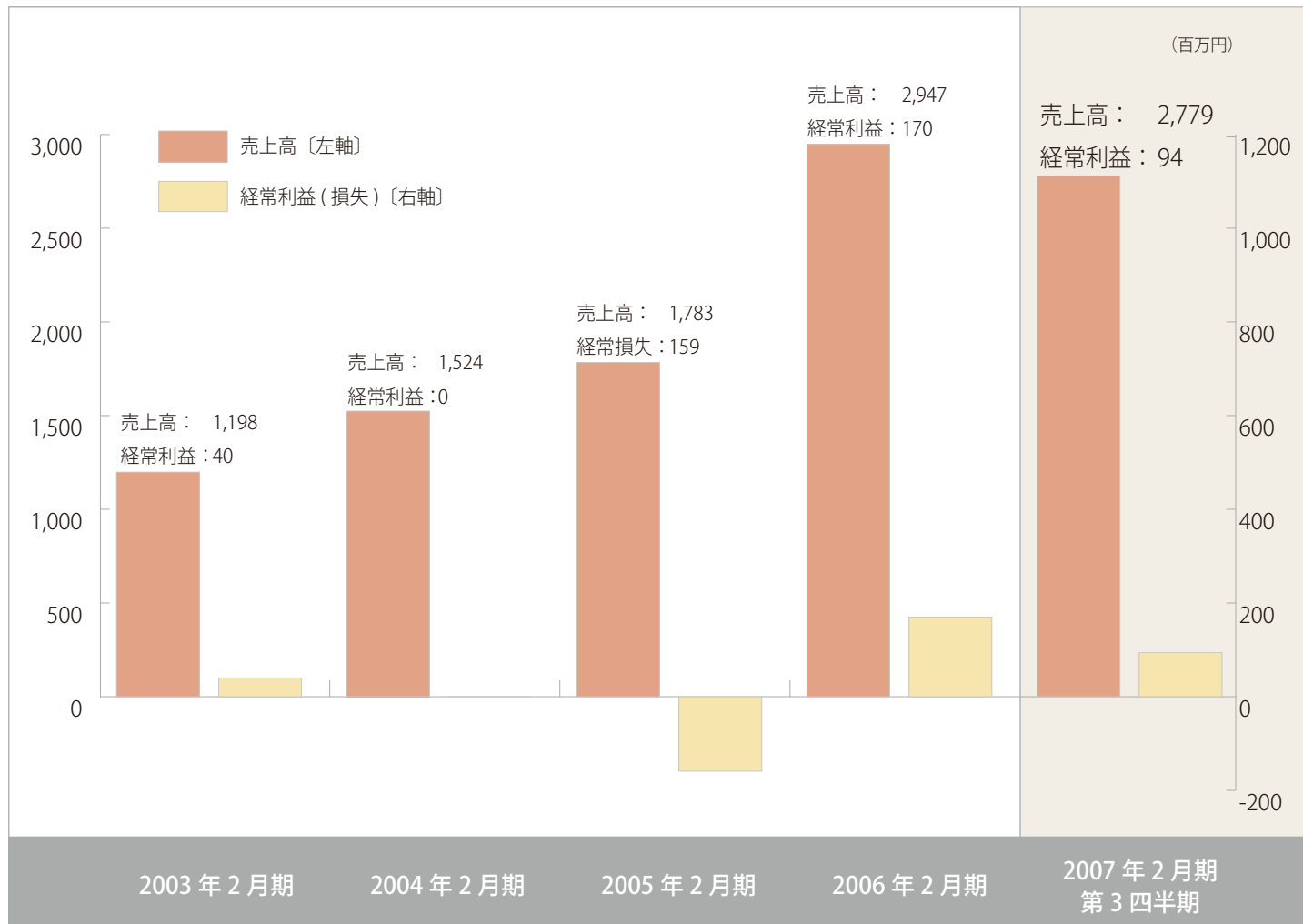
※2：本資料では事業名を略して記載しています。正式名称と事業概要は下記の通りです。

パブリック事業 = パブリックイノベーション&リノベーション事業（公共施設における飲食店舗の開発・再開発事業）

コマース事業 = コマースイノベーション&リノベーション事業（商業飲食店舗の開発・再開発事業）

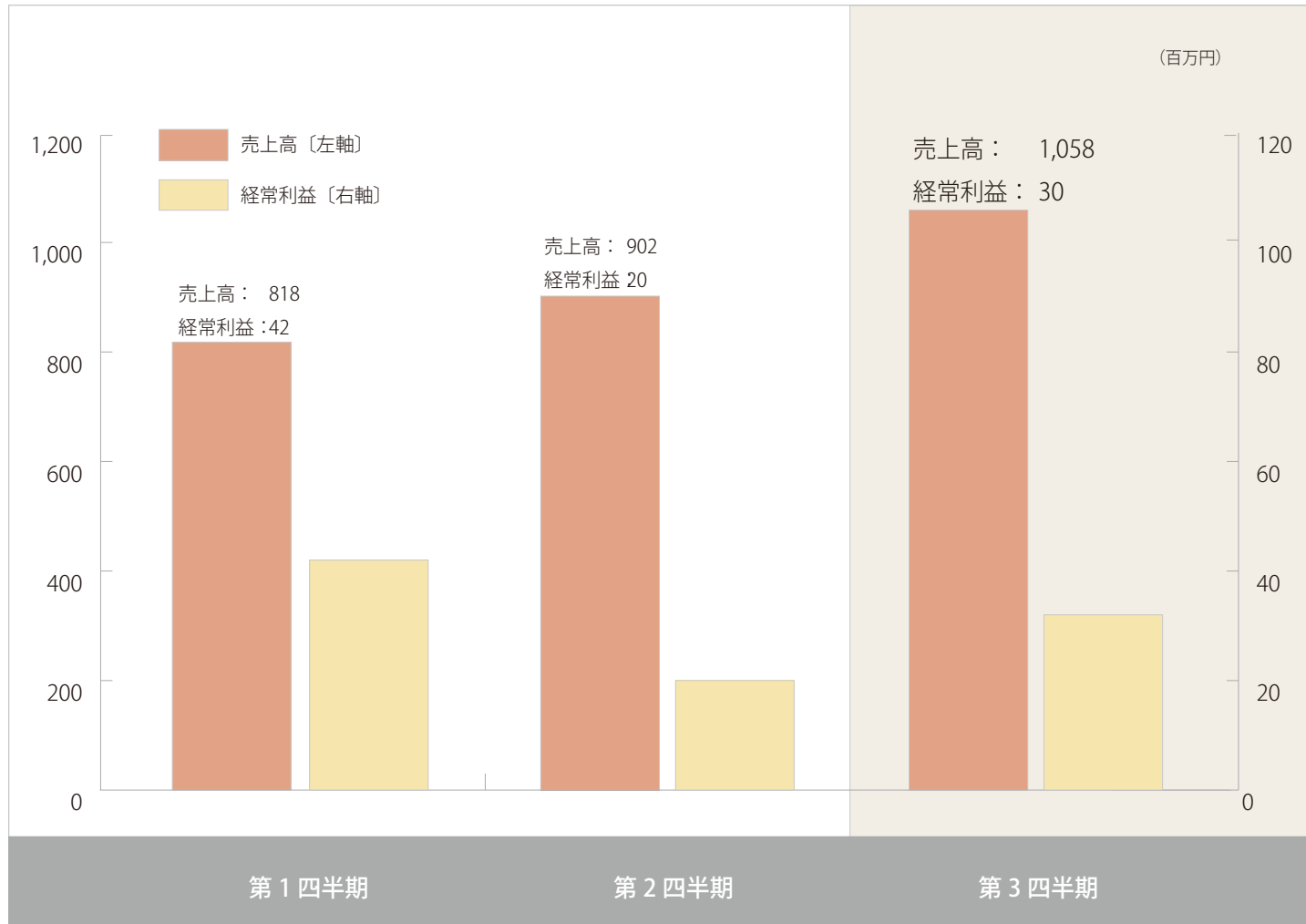
売上高 / 経常利益の推移

売上高及び経常利益の推移



四半期業績の推移

四半期 売上高及び経常利益の推移



損益計算書概要

(単位：百万円)

	2007年2月期 中間期	百分比 (%)	2007年2月期 第3四半期	百分比 (%)	2007年2月期 (計画)	百分比 (%)	ポイント
売上高	1,721	100.0	2,779	100.0	3,772	100.0	新規店舗が計画を上回る業績で寄与。
売上原価	508	29.5	831	29.9			フードサービスに比べ原価率の高いプライダルの売上構成比が 18.6%に。 (中間期比 1.8 ポイント増)
売上総利益	1,213	70.5	1,948	70.1			
販売費及び一般管理費	1,156	67.2	1,850	66.6			本社経費の対売上高比率：9.6% (中間期比 1.1 ポイント減)
(内訳) 人件費	607	35.3	963	34.7			
その他販管費	549	31.9	887	31.9			新規出店費用 (第 3 四半期累計)：68 百万円
営業利益	56	3.3	97	3.5			四半期内訳： 第 1 四半期 45 百万円／第 2 四半期 11 百万円／第 3 四半期 40 百万円
営業外損益	6	0.3	△3	0.1			株式交付費 13 百万円を計上。
経常利益	63	3.6	94	3.4	205	5.4	
特別損益	△1	0.0	△1	0.0			
税引前当期純利益	62	3.6	93	3.4			
当期純利益	30	1.8	47	1.7	121	3.2	四半期内訳： 第 1 四半期 22 百万円／第 2 四半期 8 百万円／第 3 四半期 16 百万円

※2007年2月期第3四半期は第3四半期財務諸表を初めて作成するため、前年同期との比較分析は行っていません。

貸借対照表概要

(単位：百万円)

	2007年2月期 中間期末	2007年2月期 第3四半期末		2007年2月期 中間期末	2007年2月期 第3四半期末
【資産の部】			【負債の部】		
流動資産	445	631	流動負債	753	676
①— 現金及び預金	239	480	③— 買掛金	202	270
売掛金	57	61	一年内返済予定長期借入金	222	114
その他	149	89	その他	327	291
貸倒引当金	△1	△0	固定負債	349	424
固定資産	1,015	1,011	長期借入金	349	424
有形固定資産	813	898	負債合計	1,102	1,101
②— 建物	607	780	【純資産の部】		
器具備品	79	100	④— 株主資本	357	630
建設仮勘定	116	6	資本金	202	330
その他	9	11	資本剰余金	124	252
無形固定資産	14	16	利益剰余金	30	47
投資その他の資産	187	186	評価・換算差額等	0	0
資産合計	1,460	1,732	その他有価証券評価差額金	0	0
			純資産合計	358	630
			負債及び純資産合計	1,460	1,732

※2007年2月期第3四半期は第3四半期財務諸表を初めて作成するため、前年同期との比較分析は行っていません。

① 公募増資や新規借入等により、現金及び預金 241 百万円増。

② 店舗新設及びリニューアルにより 173 百万円増。

③ 店舗数増加に伴う取引額の増加に伴い、買掛金 68 百万円増。

④ 第3四半期純利益の増加および公募増資等により 273 百万円増。
株主資本比率は、11.9 ポイント上昇し 36.4%。

キャッシュ・フロー計算書概要

(単位：百万円)

	2007年2月期 中間期	2007年2月期 第3四半期	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	136	289	当中間期に比べ税引前純利益が30百万円、減価償却費が34百万円、仕入債務が68百万円増加。
投資活動によるキャッシュ・フロー	△329	△437	新規出店に伴い、当中間期に比べ有形固定資産の取得による支出が117百万円増加。
財務活動によるキャッシュ・フロー	168	378	株式の発行による収入が当中間期より242百万円増加。
現金及び現金同等物の増減額	△24	230	
現金及び現金同等物の期首残高	250	250	
現金及び現金同等物の期末残高	226	480	

※2007年2月期第3四半期は第3四半期財務諸表を初めて作成するため、前年同期との比較分析は行っていません。

第3四半期のトピックス 1

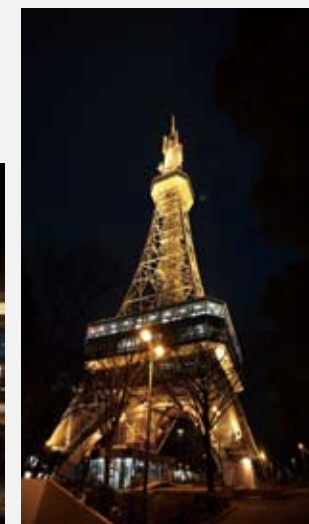
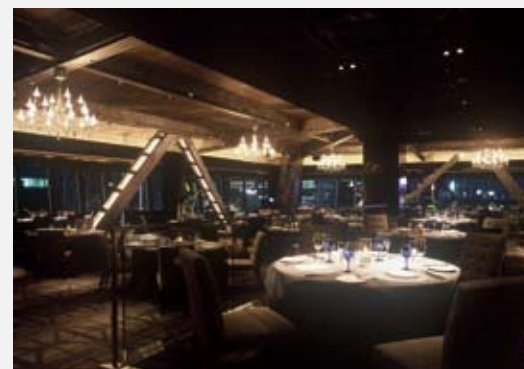
パブリック事業：新規2店舗をオープン

6月、「THE TOWER RESTAURANT NAGOYA」(名古屋市中区)をオープン。

建造から約50年が経過し、2011年にはアナログ放送終了とともに電波塔としての役目も終える名古屋テレビ塔が新しく生まれ変わりました。

レストラン、ラウンジ、そして展望階にはウェディング施設を開発し、全面リニューアルオープン。

名古屋のランドマークとしての存続意義と、久屋大通公園を中心とした街の活性化に大きく貢献しています。



9月、「GARLANDS」(愛知県一宮市)をオープン。

約2,500坪の広大な庭園を活かしたレストラン&ブライダル店舗。

閉館した博物館(元々は毛織物工場)跡地の再開発にあたり、地域の方々から庭園を残して欲しいとの要望が寄せられ開発方法が模索されていた中、当社が庭園を活かした店舗を提案・開発しました。

メインダイニングとサニーサイドテラス、森の景色と融合するガーデンホールにて、ゆったりとした優雅な時間をご提供します。



第3四半期のトピックス2

パブリック事業：既存店舗のリニューアル

11月、「金山（クンサン）ソウル」（名古屋市中区）をリニューアルオープン。

「東京 渋谷 神南軒」をリニューアルし、韓国料理を提供する「金山ソウル」としてオープンしました。大変ご好評を頂いており、リニューアル後の売上高は約4割アップしました。



コマーシャル事業：新規出店

7月、「M&L Hawaiian Eats with Muu Muu COFFEE」（東京都目黒区）をオープン。

ハワイアン業態の関東一号店です。名古屋では、「ALOHA TABLE Muu Muu COFFEE & COCKTAILS」を2005年3月より営業しています。



8月、「ALOHA TABLE Ocean Breeze Hawaiian Eats with Muu Muu COFFEE」（横浜駅東口）をオープン。

横浜港やみなとみらい21地区をのぞむ商業施設「横浜ベイクォーター」の4階に出店しました。



第3四半期のトピックス3

コマーシャル事業：新規出店計画

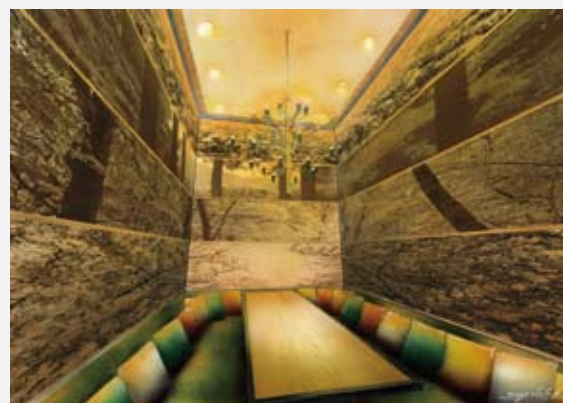
11月、「東京ミッドタウン」(東京都六本木) への出店が決定。

防衛庁跡地に開発中で、2007年3月にグランドオープンする「東京ミッドタウン」に新規出店することが決定しました。「東京ミッドタウン」は、世界中のあらゆる才能・センス・文化が集まり、刺激しあいながら、あたらしい価値を創造することをコンセプトとする商業施設です。

当社が出店する店舗は「Orange (オレンジ)」で、シャンパンを気軽に楽しめるカフェ&レストランです。

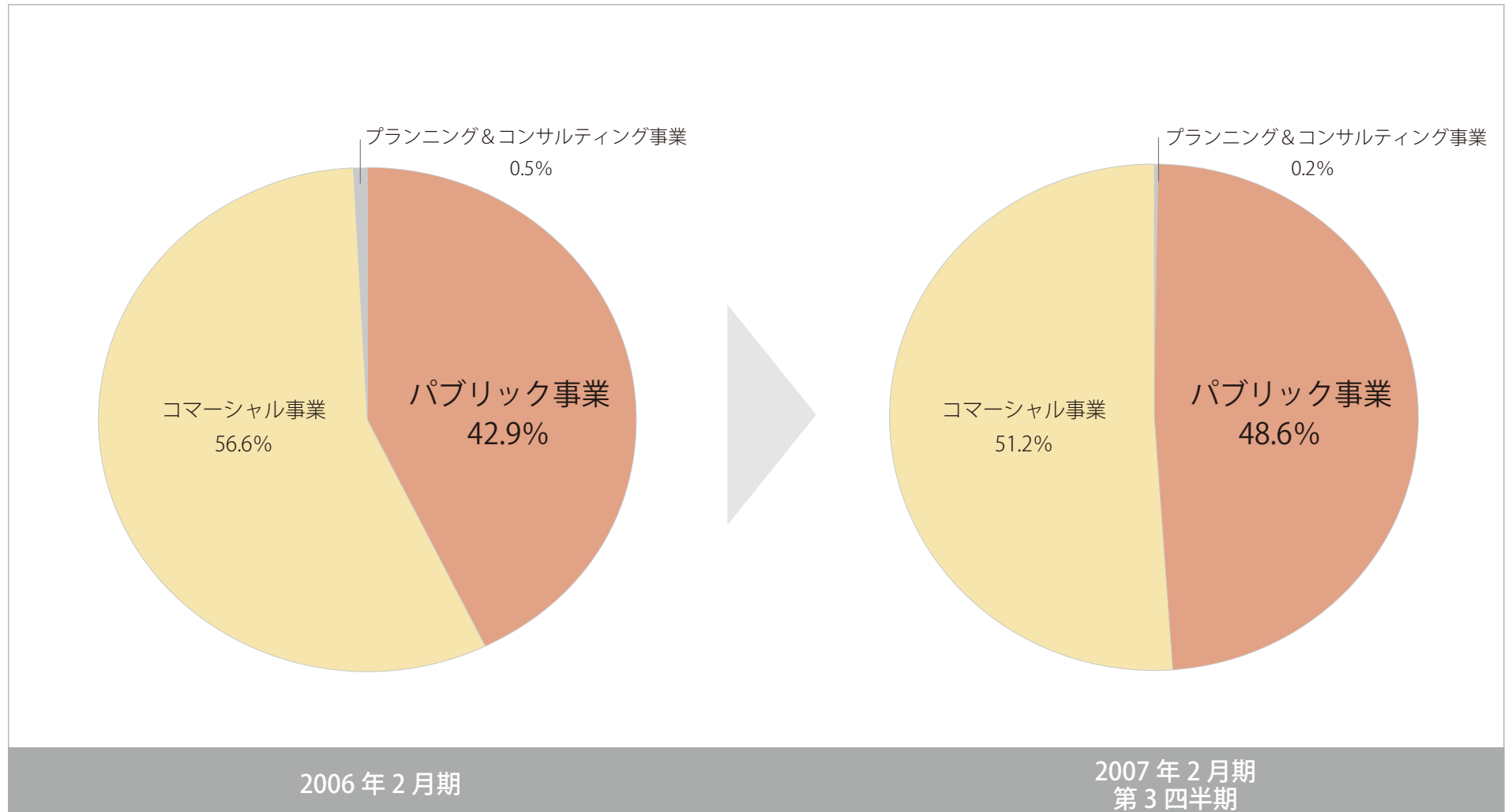
フルーツシャンパンやフレッシュ・フルーツシャンパンカクテルなどを、素材を活かしたライトフレンチの料理とともにお楽しみ頂けます。

想定年商：3億円



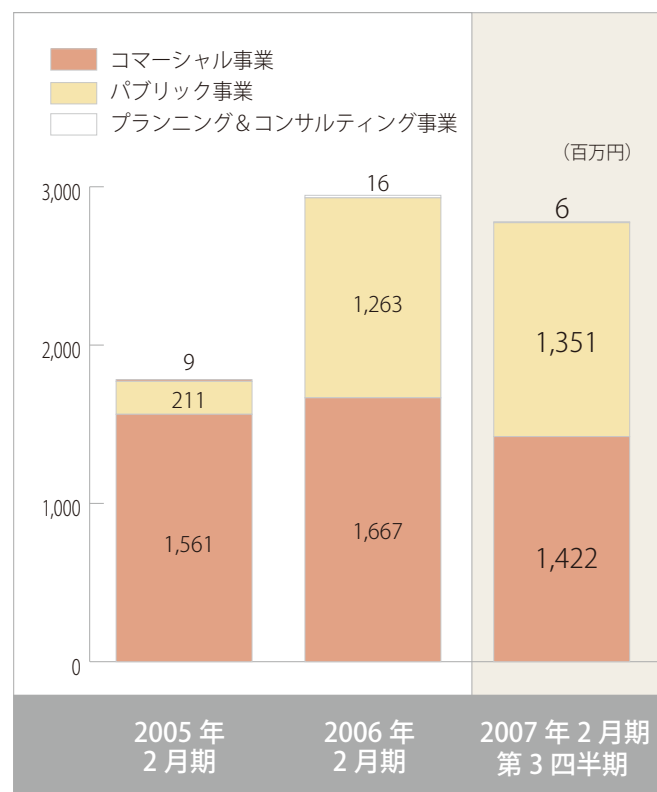
事業別売上高構成比

パブリック事業の売上高構成比が 48.6%に拡大



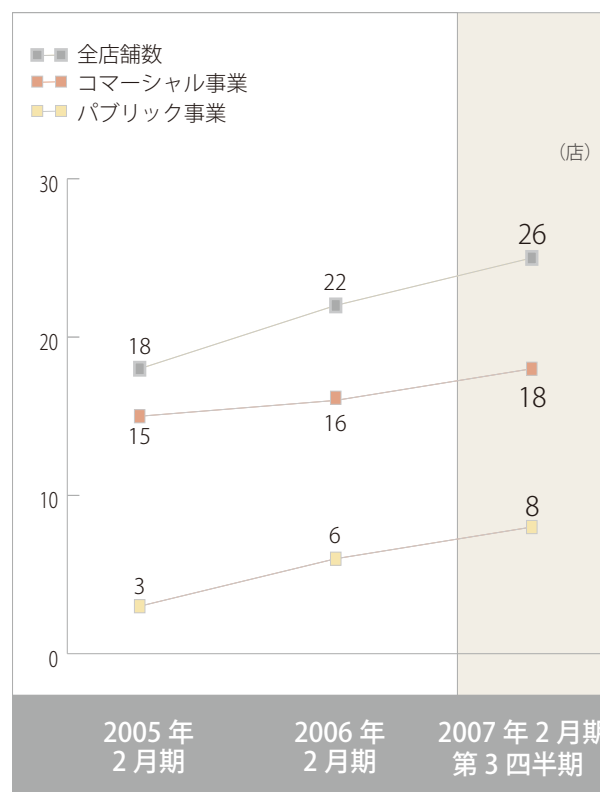
事業別：売上高 / 店舗数 / 既存店売上高前期比の推移

売上高の推移



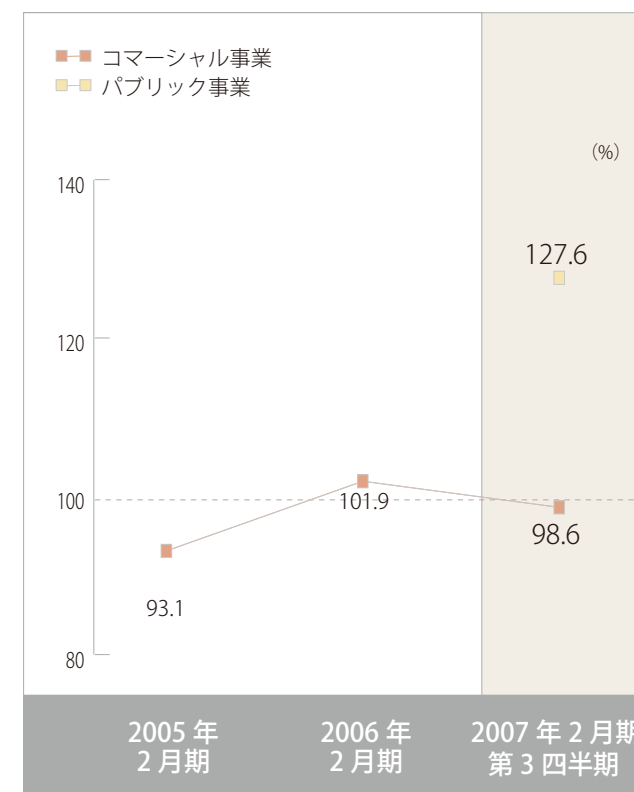
※パブリック事業は2004年5月より事業開始。

店舗数の推移



※パブリック事業は2004年5月より事業開始。

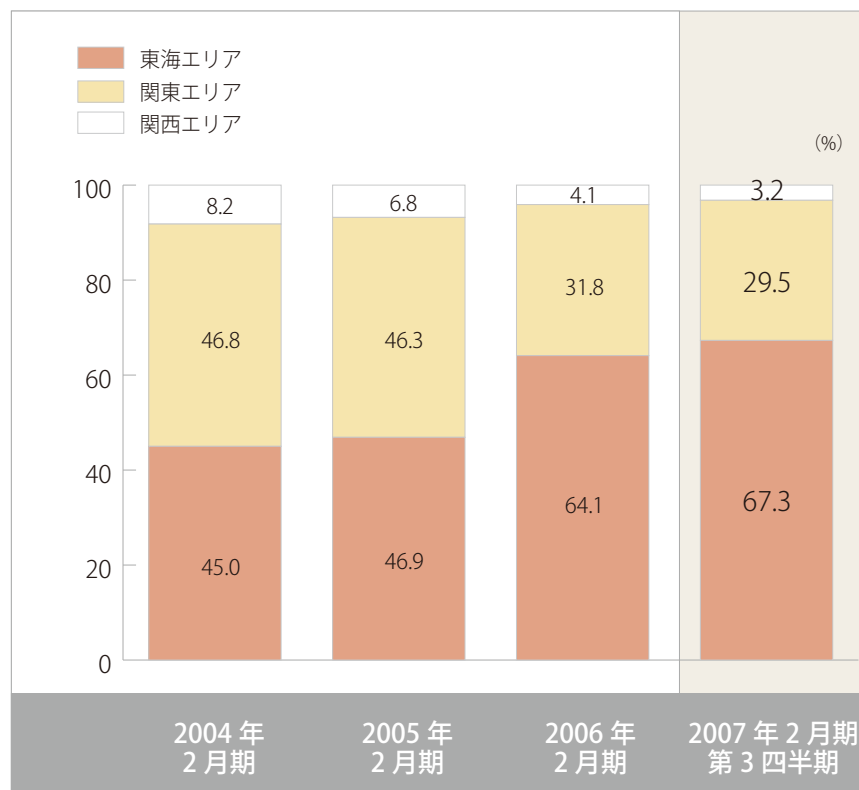
既存店売上高前期比の推移



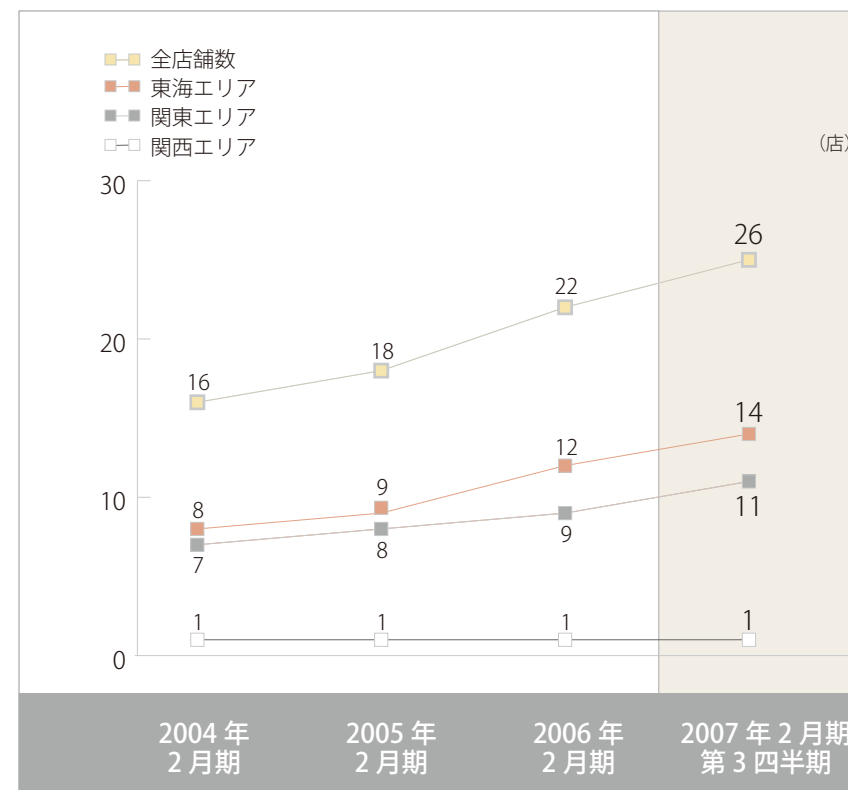
※既存店：開店から24ヶ月以上経過した店舗。
 ※2007年2月期第3四半期は、2006年2月期第3四半期との比較。
 ※パブリック事業は2004年5月より事業開始。

エリア別：売上高構成比 / 店舗数の推移

売上高構成比の推移



店舗数の推移



II. 第4四半期の取り組みと (2006年12月～2007年2月) 通期業績見通し

第4四半期の取り組み

パブリック事業：新規出店

2007年1月、**福德茶屋（東京都日本橋）**をオープン。

2006年12月にオープンした日本橋の文化と伝統を発信する施設「室町 福德塾」に、カフェ&ダイニング「福德茶屋」をオープンしました。

抹茶や甘味からおでんや串カツなどの一品料理、そして美味しいお酒をお楽しみ頂けます。

想定年商：1億円



コマース事業：積極的撤退

12月、「**チャミスル jinro style 恵比寿**」（東京都恵比寿）を閉店。

店舗売上の状況、経営委託先との協議を踏まえ、「チャミスル jinro style 恵比寿」を閉店、収益性の強化を図りました。なお、当店舗の閉店については、当期業績予想に織り込み済みです。

通期業績見通し

売上高	3,772 百万円	前期比 28.0%増
-----	-----------	------------

経常利益	205 百万円	前期比 20.6%増
------	---------	------------

当期純利益	121 百万円	
-------	---------	--